にんにくの作り方

株式会社佐藤政行種苗

生育　←←←← 茎　葉　成　長　期 →→→→|←←← 球肥大期 →→→
←りん茎形成→

月別	9月		10月			11月	10月下旬～3月中旬	3月	4月			5月			6月			7月		
	中	下	上	中	下	上		下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下

作型

畑の準備 ／ （植付け）（東北・北陸）（関東・東海地方）（関西以南） ／ 収穫 ／ 乾燥

主要作業（東北基準）

- ●種球準備
- ●堆肥・基肥散布
- ●マルチ張り
- ●種子消毒
- ●植え付け
- ●畦間除草剤散布
- ●マルチ穴より葉出し
- ●冬季間
- ●マルチ直し・土寄せ
- ●マルチ上に追肥
- ●マルチ上に追肥
- ●春腐れ病防除
- ●畦間除草剤散布
- ●春腐れ病防除
- ●殺虫剤散布
- ●さび病防除
- ●葉枯病・黄斑病防除
- ●とう摘み
- ●殺虫剤散布
- ●さび病防除
- ●葉枯病・黄斑病防除
- ●収穫
- ●乾燥

★収穫★
●葉先の3分の1が黄化した頃を目安に収穫します、又は試し掘りをして、球のお尻が平らになったら収穫します。堀遅れは、裂球や着色の原因になり品質が低下します。

★乾燥★
●自然乾燥では、根を切って10球程度を1束にして、風通しの良い軒先か納屋等で雨や直射日光を当てずに、40日程度陰干しします。

作業内容

種　球

●品種はニューホワイト六片を使用。
●L玉の形の良い6片球から種球を選び、一片重が10g～15g程度の物を使用。形の悪いもの、柔らかいものは使用しない。
●種球は1a＝25kg～30kg用意する。
●イモグサレセンチュウに汚染された種球は使用しない。

畑の準備

●極端に乾燥しない畑を選ぶ。排水良好で保水性のある畑を選ぶ。ねぎ・たまねぎの後作は避ける。土壌pHは6．0～6．5が最適。

施　肥

●基肥として、1a当たりの施肥量は、成分量で窒素2．0kg・リン酸3．0kg・カリ2．0kgとします。堆肥は完熟したものを使用し、1a当たりの投入量は400kgとしします。土壌改良の為、若土を20kg投入する。
●酸性が強い土壌は消石灰などで、矯正してください。
●追肥は、ﾎﾞｶシ万次郎を2回に分けてマルチ上に散布してください。
●葉面散布剤を、5月上旬から3～4回散布すると生育・肥大が良くなります。

植付け・管理

●穴あきマルチ（3415B、9215B）を使用。
●畦幅140cm、4条植え又は畦幅90cm、2条植え、株間15cmで、発根部を下にして深さ5cmに植え付けます。
●植付け株数は1a＝1900株が目安となります。

★管理★
●冬季に凍って浮く上がった株上から押さえ直します。分球株は早めに抜取り1本立ちにする。とう立ちしたら早めに摘み取ります。そのままにすると肥大に影響が出ます。

施肥例

（1a当り）

	肥料名	保証成分% 窒素	リン酸	加里	苦土	施肥量 kg（1a当り）	備考
基肥	たい肥					400	完熟したものを使用
基肥	スーパーユーキ30号	10	10	10		20	三要素の他ホウ素を含む
基肥	若土					20	カルシウム補給・土改材
基肥	Gセブン				17	3	苦土補給
基肥	ヨウリン		20		12	5	リン酸補給。
追肥	ﾎﾞｶシ万次郎（追肥）	6	6	3		15	魚かすが原料で即効性。食味・糖度向上
追肥	鮮緑				15		葉面散布剤。3～4回散布・500倍で使用
追肥	有機バイオ液肥	0.96	0.07	0.94			葉面散布剤。3～4回散布・1000～1500倍で使用